

NPO 法人柔道教育ソリダリティー報告書

2014 年 2 月 9 日

NPO 法人柔道教育ソリダリティー
国際担当師範・東海大学教授
光本 健次



イスラエル（ゼリグスベルグ高校）ジュニア指導



パレスティナ（ベツレヘム道場）での指導

法人の国際担当師範として、この度、1 / 30～2 / 7 までの短い期間ではあったが、イスラエル・パレスチナへの視察と巡回指導を行った。

以前この地には、立命館大学の春日俊教授と、びわこ成蹊スポーツ大学の村田正夫准教授に訪問していただいている経緯がある。

私自身は初めての訪問となるが、すでに東海大学柔道部及び体育学部を拠点に、イスラエルのアディエル君、ダニエル君、シャイ君の3名、パレスチナのカリッド君、モニエール君の2名を約1ヶ月のプログラムで受け入れ、コーチとしての指導法や、学部スペシャリストによるメンタルトレーニング、リハビリトレーニング、テーピング法、スポーツマサージ法などを研修してもらった。また大学以外では、朝飛道場、濱名道場、吉田道場、望星学塾、秦野総合高校、練馬区立貫井中学校などにも訪問し、各先生方にご指導いただいた。この場をおかりして関係各位にお礼と感謝を申し上げたいと思う。今回は大変短い訪問となったが、私には日本で指導したかわいい弟子たちとの再会が楽しみであった。

さて、出発する際に一番心配なのが治安や自爆テロなどの問題なのかもしれない。しかし、ここ数年はパレスチナ自治区との分離壁設置などにより、自爆テロの件数は大幅に減ってきているようであるが、テロ対策のため、出入国やショッピングセンターなどでは、入口で手荷物検査が行われている。また、放置されているものは爆弾処理班が片づけるので、不審物には触らない、自分の持ち物からは決して目を離さないことが安全対策の基本になる。現在、イスラエルに行くには、日本からの直行便は残念ながら運行していないので、トルコ航空イスタンブール経由でイスラエルの空の玄関口、ベン・グリオン空港でテルアビブに入国した。空港にはイスラエル日本大使館のご配慮により、パレスチナ自治区ラマッラ

のホテルまで、車で移動サポートをして頂いた。成田国際空港からトルコイスタンブールまでは約12時間半、ウェーティングタイムを入れると約19時間近くの長旅となり、ホテル到着と同時に深い眠りについっていた・・・。

翌日目を覚まし、7階の窓から見た風景は、日本や他の国とも大きく異なった世界のように感じられた。このような所から私のかわいい教え子たちが、自国の柔道普及・発展のために一生懸命日本で頑張ってくれていたことを思うと、私ができる最大の指導をしてあげたい気持ちでいっぱいになった。



パレスティナのホテルから見た風景

パレスチナは、ベツレヘム・ナブロス・エルサレム地域を午前・午後と車で移動する巡回指導にあたった。対象は、幼児・ジュニア・シニア（初心者）、ナショナル選手などで、レベルや年齢差も大きく指導上難しい面もあるが、それぞれの道場で大きな歓迎をしてくれて、楽しく実施することができた。練習は教え子のカリッド君やモニエール君が先頭に立ち、大きな声で指示を出し、日本の研修の成果を垣間見たようで大変頼もしく感じることで嬉しく思った。練習における環境（道場・場所）は移動時間もかかり、選手たちが同じ道場で練習することが難しく、整備された施設や畳も少なく、多くの道場がマットの上で練習を行っている状況にある。今後、少しでも応援や支援ができるのであれば、このような場所に柔道衣や畳などを整えてあげたい。練習環境は決して恵まれてはいないが、練習に取り組む一人一人の目は、柔道に対する大きな夢と希望で輝いて見えた。まだ3日しか指導していない私の柔道衣も、道場のほこりと汚れで、もうすでに黒ずんでいた。



モニエール君の娘と一緒に



ベツレヘム道場での指導風景

POC（パレスチナ・オリンピック・コミティ）への訪問では、連盟役員のカリッド君・モニエール君と POC 事務局長の Dr Mazen AI Khatib と今後の友好親善について話し合うことができ有意義な時間が取れた。翌日の各種の新聞には、POC に訪問した様子や練習風景が大きく掲載されていた。



الخطيب يستقبل الخبير الياباني

ثمرة جهود رئيس الاتحاد الحلبي

فلسطين تستقبل خبير الجودو الياباني "موتو"

رام الله - إعلام اللجنة الأولمبية: استقبل د. مازن الخطيب في مكتبه الخبير الياباني "كنجي ميتوموتو". أمس، بمقر اللجنة الأولمبية بالبيارة، بحضور بدر مكي ووائل شهاب من الأولمبية، ومدير محسن عضو اتحاد الجودو وخالد أبو أرميلة رئيس لجنة المدربين في الاتحاد ومدرب المنتخب الوطني.

ورحب د. الخطيب بالضيف مشيداً بالعلاقات المميزة بين فلسطين وبلاذه اليابان، والتي نسج علاقاتها اللواء جبريل الرجوب رئيس اللجنة الأولمبية، مؤكداً الحرص على الاستفادة من التجربة اليابانية في القطاع الرياضي وفي رياضة الجودو تحديداً، وخاصة أن فلسطين ستشارك في عديد الاستحقاقات القارية في عديد الألعاب ومن بينها الجودو الأولمبية. ومن أجل ذلك ناقش د. الخطيب مع الخبير الياباني إمكانية إيفاد عدد من لاعبي الجودو إلى اليابان من أجل إعدادهم للبطولات القادمة.

وكان الخبير الياباني "موتو" وصل فلسطين أول من أمس، وشارك في تدريب بمركز التعمارة للجودو صباحاً ومساءً في يوم الجمعة الماضي، ويوم أمس شارك في تدريبات بمركز نابلس للجودو، وصباح اليوم الأحد سيقيم بإعطاء تدريب صباحي ومسائي في مركز القدس للجودو، على أن يختتم زيارته للعديد من مراكز الألعاب القتالية صباح يوم غد الاثنين. يشكر ان الخبير الياباني الحائز على الدان السابعة في الجودو هو محاضر في جامعة توكاي اليابانية، واشرف على تدريب العديد من المنتخبات في سويسرا والدنمارك والصين.

وكانت زيارة الخبير الياباني قد تم اعدادها من قبل رئيس اتحاد الجودو هاني الحلبي الذي يرقى على سريز الشفاء، حيث اشاد الخبير الياباني بصديقه الحلبي متمنياً له الشفاء مؤكداً انه قد ساهم في اقامة علاقة وطيدة مع اتحاد الجودو الياباني، وان تواجدته في فلسطين جاء بجهود الاساتذة هاني الحلبي، وانه التقاه في عديد المناسبات في البطولات القارية وبطولة العالم. ومن الجدير ذكره ان مدبراً رومانيا سيصل فلسطين للقامة فيها لمدة ستة اشهر من أجل الاشراف على المنتخبات واعداد الفرق المهمة باللمبة.

POC فلسطينا أولمبية اللجنة

نادي هلال القدس

استضيف الخبير الياباني كنجي موتو



تلاميذ الهلال مع المدرب الياباني

وهلال القدس على الالتزام بالاخلاق والروح الرياضية موضحاً بأن رياضة الجودو تحتل على تعزيز لياقة الجسم والحيوية وعبر عن فخره بزيارته فلسطين وتواجده في نادي هلال القدس وتمنى التوفيق لمنتخب فلسطين ولقريق هلال القدس في البطولات القادمة.

المجدد - استضاف نادي ر الياباني كنجي متسو ص في جامعة توكاي بد من للتخيات الدولية أ ومنها منتخب الصين جي قد حل ضيفاً على

رئيس لجنة المدربين ني الفلسطينية للشباب القدس خالد أبو أرميلة دولي ماهر أبو أرميلة التدريسية التي جرت في مدة ٣ ساعات شرح للتدريب وكيفية تجهيز ليني ومن الجدير ذكره عدة تدريبات في مناطق ل ثلاثة أيام كانت مفيدة ن خبرته مدبر مناطق لوسط عبي للنتخب الوطني

パレスティナでのジュニア指導の記事

イスラエルに移動し、タルパス柔道クラブのデュービット先生とベニー先生ご兄弟にお世話いただき、エルサレム市内の柔道クラブやスクールで指導を行った。イスラエルには教え子が3人いるが、デュービット先生の息子のアディエール君は兵役で参加できず、ダニエル君とシャイ君の2人が練習の先頭に立ってくれた。イスラエルでは男子が兵役3年、女子が2年の義務が課せられ、街の中では多くの武装した兵士が見受けられ、日本とは異なった緊迫した情勢下であることが改めて感じられた。近年、イスラエルでは世界選手権・国際大会などで活躍がめざましく、柔道競技がクローズアップされて人気種目の一つになってきている。練習も4歳児クラス・9-12歳クラス・13-17歳クラス・アダルトクラス・選手クラスなどに分け、指導体制や指導方法もヨーロッパ流にできあがっているように感じた。今回の指導でユニークだったのが、忍術クラブと柔道クラブの合同練習があり、忍術クラブの生徒に柔道競技を体験させるクラスであった。長いヨーロッパでの指導経験から、このへんの指導はお手のものであるが、久しぶりに生徒と一緒に楽しんだ指導ができた。



忍術クラブと合同練習



ジュニアクラスでの記念写真

春日俊・村田正夫両先生のレポートにもあったが、イスラエルとパレスチナでは練習環境や指導体制に大きな格差が見受けられ、支援・応援するうえで今後のプログラムの見直しも必要であろう。日本で研修を受けた教え子たちは、自分たちのポジションでそれぞれ頑張っていて、確実に研修の成果は上がっていると確信できた。まだまだ紛争の絶えないイスラエルとパレスチナの問題は、日本人である我々には簡単に理解することは難しいと思う。日本でパレスチナのモニエール君と一緒に研修を受けたイスラエルのダニエル君は、「モニエールと一緒に過ごし、寄り添って生きていく自身が持てた、この種を木に、さらに実へと育てていきたい」と答えてくれた。また、パレスチナのモニエール君は「対立は国の問題で、私たちが対立しているわけではない。だからと言って、自由に行動できるものでもない」と言っていた。2人が帰国するとき、ダニエル君が、「帰国しても一緒に柔道をしよう」とモニエール君に差し出した手を、モニエール君は彼の手を握りしめて言った。「いま約束しても、難しいだろう。でも、あなたの娘と私の娘と一緒に柔道ができるような時代になるよう、一緒に汗をかこう」と言って帰国の途についた。

法人のスローガンである柔道・友情・平和の3つの文字は、柔道を通して日本を含む両国がお互いに友情を育み、それが平和に続く道のりを確実につくっているものと信じたい。